

アスベストに関する 採取・分析は

地元のサンイン技術コンサルタント(株)へ

○建材製品中(吹付け等)のアスベスト採取計画



建材サンプリング状況

- 1, 石綿の使用の有無を目視、設計図書等により調査します。
- 2, その結果、アスベスト使用の可能性があるときは、分析を実施します。

○試料中のアスベスト含有の確認

定性分析を行い、アスベストがあれば定量分析を行います。

判定方法(建材製品中) : JIS A 1481

定性分析 (0.1%の有無) ・位相差顕微鏡による分散染色法
・X線回折定性分析

↓
アスベスト含有

↓
定量分析 ・X線回折定量分析



アスベスト測定用 位相差顕微鏡

○空気中のアスベスト量



浮遊アスベストサンプリング状況

空気中にアスベストが飛散しているか否か判定します

- ・解体処理工事における測定
- ・室内中の測定

まずは、ご相談下さい!
最適なお提案させていただきます。

環境配慮の観点から、アスベスト処理工事における粉じん測定の計画、測定が必要です。
弊社では、適切なアドバイスをしながら、計画・採取・測定を実施します。

お問合せは

技術と信頼で豊かな環境の創造をめざす

サンイン技術コンサルタント株式会社

URL : <http://www.sanin-gc.co.jp>

本社/鳥取県米子市昭和町25番地1
環境調査部 (0859) 32-3310
鳥取支店/鳥取県鳥取市若葉台南1丁目11番
(0857) 38-6111
倉吉営業所/鳥取県倉吉市福庭町1丁目48番地
(0858) 24-5101

作業環境登録 鳥取労働基準局 第31-7号
環境計量証明事業(濃度) 第45号

○処理工事における測定

環境配慮の観点から、アスベスト処理工事における粉じん測定の計画、測定が必要です。弊社では、適切なアドバイスをしながら、計画・採取・測定を実施します。

以下、基本の測定頻度・方法を示しますが、現地状況に応じた最適な計画を提案します。

測定頻度

測定時期	測定名称	測定場所	測定数	備考
処理作業前	測定1	処理作業前	対象室各2点又は3点	※
	測定2	調査対象室外部の付近	計2点	大気
処理作業中	測定3	処理作業室内	対象室各2点又は3点	※
	測定4	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置各2点	—
	測定5	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	—
処理作業後 (シート養生中)	測定6	処理作業室内	対象室各2点	—
処理作業後 シート撤去後 1週間以降	測定7	処理作業室内	対象室各2点又は3点	※
	測定8	調査対象室外部の付近	計2点	大気

※ 各施工箇所ごとの室面積が50m²以下までは2点、300m²以下までは3点とする。300m²を越えるものは、お客様とご相談させていただきます。

測定方法

名称 項目	測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		45mm
試料の吸引流量	1ℓ/分	5ℓ/分	10ℓ/分
試料の吸引時間	5分	120分	240分
試料の透明化	アセトートリアセチン法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3マイクロメートル未満、長さ5マイクロメートル以上、長さ直径比3:1以上		
定量限界	50f/ℓ	0.5f/ℓ	0.3f/ℓ

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)から抜粋

**まずは、現状をお聞かせ下さい！
最適なお提案させていただきます。**